

鹿野亮介 alto sax
望月慎一郎 piano

2026 05月06日 (祝水)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3300+2drinks order

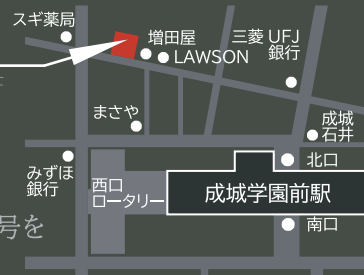
CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



望月慎一郎

静岡県出身。幼少から音楽に触れ、6歳で曲を書きはじめた。13歳の頃には海外でも自作曲を披露し、既に作曲は日常のものとなっていくなかでジャズに出会い、以降は独学で研究を重ねている。尊敬する宇宙飛行士らの影響を受けてエンジニアへの憧れもあったため音楽大学ではなく工学部へ進学し周囲を驚愕させたが、在籍時は放射線管理区域で実験を繰り返す毎日を送りながらも音楽創作活動を継続しヤマハ講師グレードも取得、音楽研究を片時も忘れなかった。欧州ジャズに近い演奏スタイルを取り入れ、独自の的方法論で作品を作り出す。半導体・電子部品の技術開発も行いながら、精力的に演奏活動と創作活動を続けており、次々と作品を発表している。2017年、ピアノトリオによる大作アルバム「Visionary」(SONG X 047)をリリース。2018年、橋爪亮督(sax)をフロントにむかえ「Another Vision」(SONG X 054)をリリース。2021年、Miroslav Vitous(b), 福盛進也(ds)をむかえ「Trio2019」(Columbia / Unknown Silence)をリリース。



鹿野亮介

音楽家・映像クリエイター。仙台市生まれ。中学の頃より市内ライブハウスにて演奏を始め地方新聞河北新報に取り上げられる。東北高校を文化特待生として入学。尚美学園大学ジャズ科を全額免除特待生で入学。ベーシストの藤原清登バンドに加入キングレコードにてアルバム『jump monk』を録音。ツアーを行う。その後活動拠点をカナダトロントに移し BillMcbirnie に師事。BillMcbirnie の弟でドラマーの RoderickMcbirnie の家に居候しセッションに明け暮れる。ベーシストの Dave Young, サックスの Pat Labarbera に影響を受ける。ショパンコンクール優勝者ブルース・リウのインタビューにソムリエとして参加し雑誌【音楽の友】に掲載される。現在はジャズを中心に近年は V.J. として映像を用いた演奏活動も展開している。